

木津川のアユの産卵生態を観察しよう !!

今年は淀川から多くの天然アユ(海産アユ)が木津川へ遡上してきました。アユは年魚と言われ、秋には下流へ移動し、砂利の浅瀬に産卵します。今回は、木津川市山城町の開橋付近のアユの産卵生態を観察し、種々の疑問に答えます。

- アユは上流・中流・下流のどこで卵を産むのですか？
- アユの卵はどこにあるのですか？
- アユの仔魚は産卵後何日目に生まれるのですか？
- 孵化したアユの仔魚はどこまで流下するのですか？
- 海へ育ったアユの子供はいつ頃戻ってくるのですか？
- 親魚と産卵場はどのようにして保護するのですか？



- | | |
|--------|---|
| 開催日 | 2017年11月05日(日) |
| 開催時間 | 午後1時00分～午後4時00分 |
| 集合時間 | 午後1時00分 |
| 開催地 | 木津川の開橋周辺 |
| 集合場所 | 木津川流域センター(京都府木津川市山城町北河原)、国道24号沿い開橋東詰め南側、JR奈良線棚倉駅より徒歩20分 |
| 対象 | 一般 |
| 参加人数 | 20人 |
| 参加申し込み | 事前申し込み、10月31日(火)締切 |

現地実習の内容:

実施内容

- 1) 開橋から天然アユの産卵場を観察する
親アユの群れを観察する。アユの産卵場の地形的特徴を観察する
 - 2) 産卵場付近にて瀬の流れと砂利の状態について観察する
 - 3) 産卵場付近にてアユの親魚を投網で採捕する
 - 4) 産卵場の浮石状態を確認し、産着卵を探す
 - 5) 受精卵の付着した砂利を採集する
 - 6) 木津川流域センターにて親魚や受精卵の観察を行う
 - (1) 産卵場の親アユの解剖と生殖巣の観察
 - (2) 卵巣および受精卵の観察
 - (3) 産卵場の保全の意義と保全の方法について考える
- アユの捕獲については担当レンジャーおよびスタッフが実施します。
産卵場の見学に際して参加者は直接に川には入りませんが、足元はゴム長靴を使用してください。
- 申し込み:10月31日(火)までに所定用紙に必要事項を明記の上、
淀川河川レンジャー事務局上流流域センター【FAX】075-611-2271
までお申込みください。
- 出水の場合には、中止となります(前日に参加予定者に連絡します)

主 催: 谷口順彦 河川レンジャー、南良靖雄 河川レンジャー
スタッフ: 福井波恵 河川レンジャーアドバイザー、中西佳代 河川レンジャー
支 援: 国土交通省淀川河川事務所

9. 参加申し込み書

氏 名: _____

住 所: _____

電話番号: _____

Eメール: _____

申し込み締切: 平成29年10月31日(火)

連絡先: 淀川管内河川レンジャー事務局 上流流域センター

〒612-8225 京都市伏見区葎島金井戸官有地

Tel: 075-611-2246 Fax: : 075-611-2271 ※月曜日除く

メール: jouryuu-kasen@nifty.com